

2026年3月13日

各位

会社名 東京インキ株式会社
代表者名 代表取締役社長 堀川 聡
(コード番号 4635 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役・常務執行役員
管理部門長、IR統括 中村 真次
(TEL. 03-5902-7652)

固定資産取得（新工場用地取得）および 新工場建設の展望に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、茨城県内に取得を予定している用地に建設する新工場に関する今後の事業展開および計画について公表することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本件の土地取得額は適時開示基準における軽微基準に該当しますが、当社の今後の事業展開に関する有用な情報であると判断し、任意開示を行うものです。

記

1. 取得の理由および新工場建設の展望

当社グループは、長期ビジョン「TOKYOink Vision 2030」と中期経営計画「TOKYOink 2027」に基づき、持続的成長に向けた事業構造の変革を進めております。特に、高付加価値品への製品ポートフォリオ転換に加え、新規事業の創出および将来の事業拡張に対応できる生産基盤の構築が重要なテーマとなっています。

この実現に向け、化成品事業における生産体制を抜本的に再構築するため、茨城県より事業用地を取得し、新工場の建設を計画いたしました。新工場には、手狭となった吉野原工場およびグループ会社の生産機能を集約し、自動化・省力化による高効率生産体制への転換を図るとともに、将来的な生産能力増強や新製品展開に対応できる拡張性を備えた設備・レイアウトを導入します。これにより、既存事業の競争力強化だけでなく、将来の新規事業領域への展開や市場の変化に柔軟に対応できる持続的な事業基盤の確立を目指します。

取得予定の用地は、茨城県が整備した工業団地内にあり、都心から50km圏内で圏央道のICにも好アクセスであるとともに、現在の吉野原工場及び羽生工場と同規模の敷地面積を有しており、生産体制再構築に十分対応できる広さを確保しています。また、今回建設する新工場のエリアとは別に、将来的な生産能力増強や新規事業の展開に対応できる拡張スペースも確保しており、長期的視点での事業成長に向けた立地条件を備えております。

新工場では、自社製品比率の拡大や重点分野への取り組み強化に加え、受託製品の生産効率化を推進し、製品ポートフォリオ変革に対応した最適な生産体制を構築します。これにより、顧客要求品質の高度化に応える生産技術力を一層強化するとともに、将来の事業拡大にも柔軟に対応可能な体制を整えてまいります。

なお、建設着工は2027年4月頃、竣工は2028年10月頃を予定しております。

新工場の建設計画に関する具体的な内容（投資額、稼働開始時期等）については、現在検討中であり、決定次第速やかに公表いたします。

2. 取得資産（新工場用地）の概要

(1) 所在地	茨城県坂東市さしま台（フロンティアパーク坂東区画7）
(2) 面積	41,061 m ²
(3) 引渡時の土地の状況	更地（現在、茨城県において造成中）
(4) 取得価額	約13億円 なお取得価額は、当社直前連結会計年度の連結純資産額の30%未満となります。
(5) 資金計画	自己資金ならびに借入
(6) 物件引渡期日	2026年12月（予定）

3. 今後の見通し

当該固定資産の取得に伴う2026年3月期の連結業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。

以上